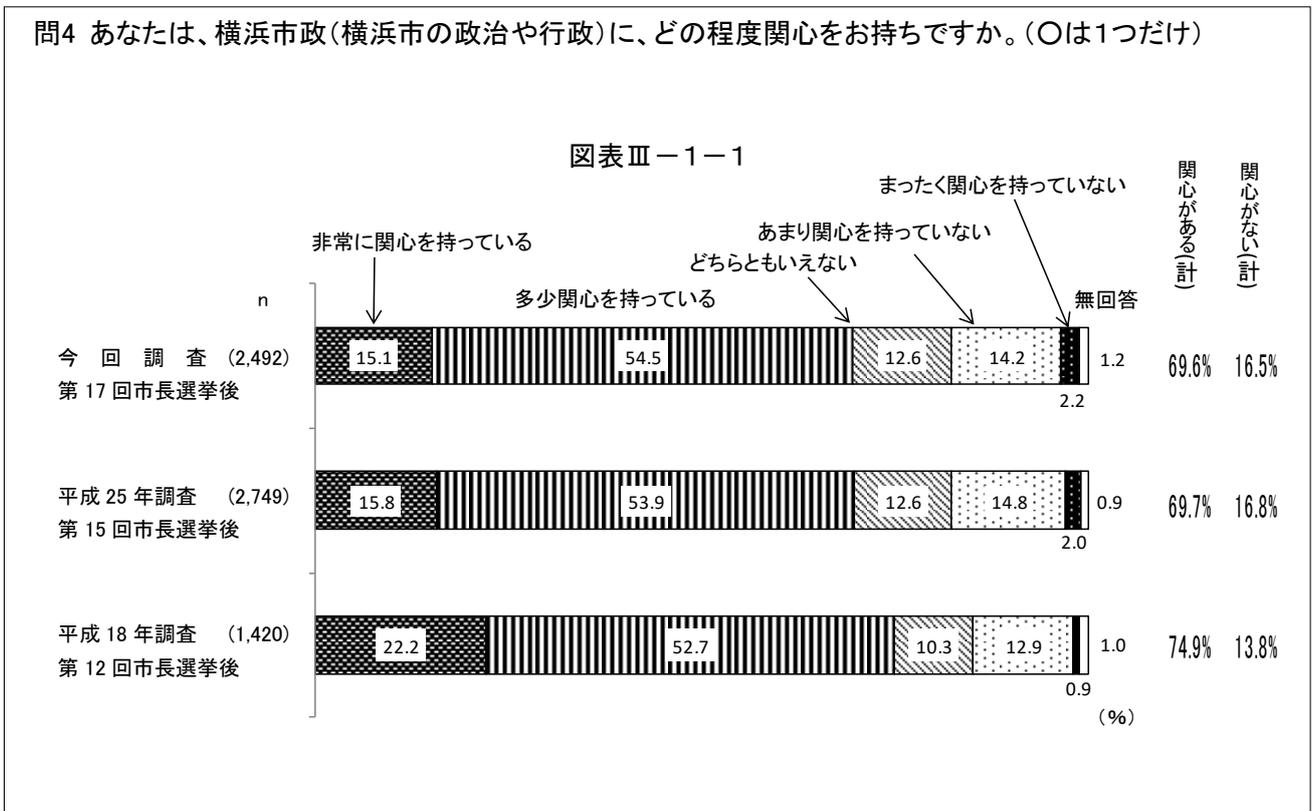


Ⅲ 政治意識

1 市政への関心

◇ 横浜市政に関心を持っている人は69.6%

問4 あなたは、横浜市政(横浜市の政治や行政)に、どの程度関心をお持ちですか。(○は1つだけ)

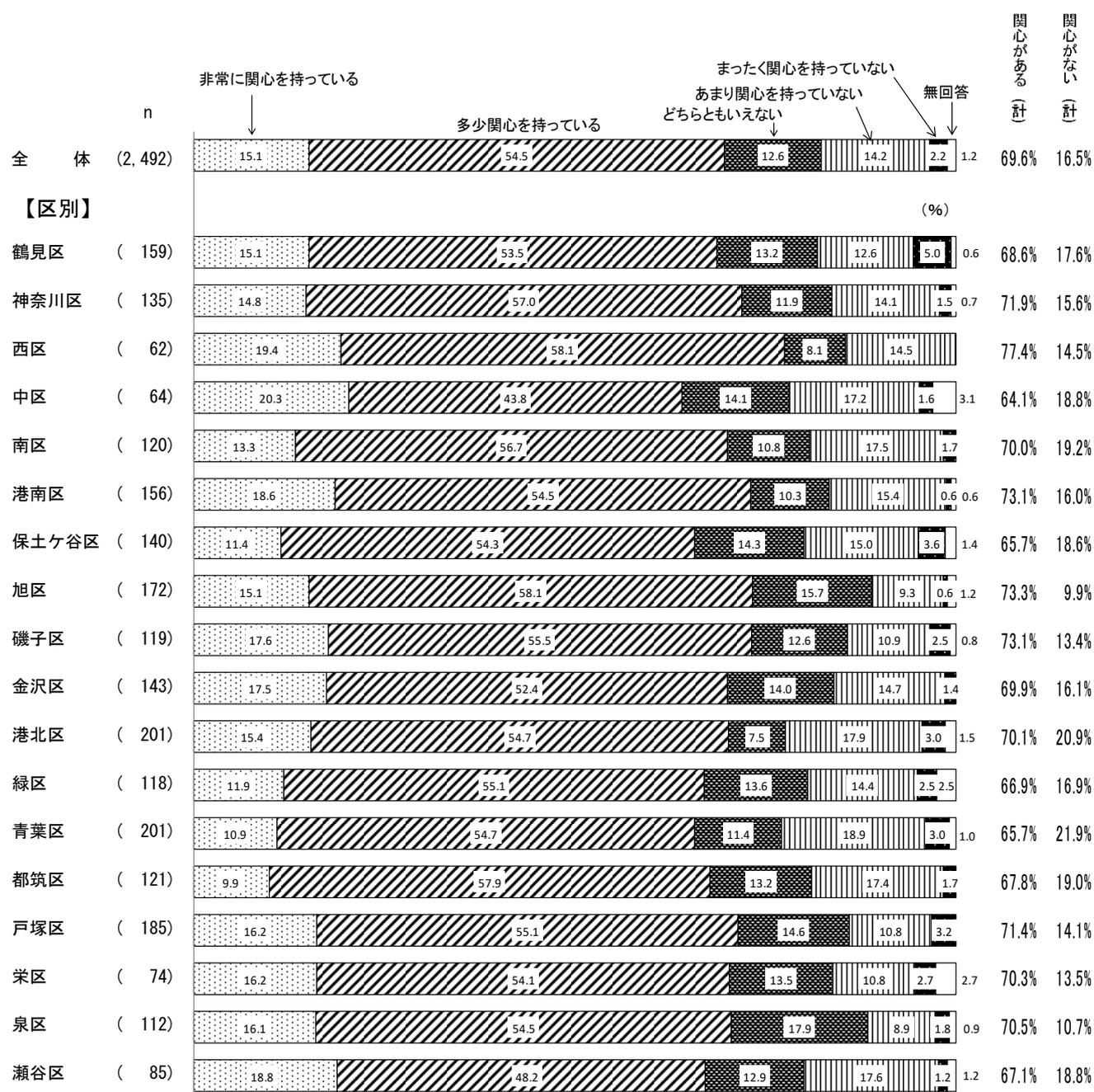


横浜市政への関心について聞いたところ、「非常に興味を持っている」(15.1%)と「多少興味を持っている」(54.5%)を合わせた『関心がある(計)』は69.6%となっている。一方、「あまり興味を持っていない」(14.2%)と「まったく興味を持っていない」(2.2%)を合わせた『関心がない(計)』は16.5%となっている。

平成18年調査(第12回 市長選挙後)と比較すると、『関心がある(計)』(69.6%)は、前々回(74.9%)より5.3ポイント減少しているが、平成25年調査(第15回 市長選挙後)と比較すると、ほぼ同じ傾向になっている。(図Ⅲ-2-1)

区別にみると、『関心がある（計）』は、西区が77.4%で最も多く、次いで旭区（73.3%）、磯子区と港南区が（73.1%）、神奈川区（71.9%）、戸塚区（71.4%）になっている。一方、『関心がない（計）』は、青葉区（21.9%）、港北区（20.9%）が2割を超えている。（図表Ⅲ－1－2）

図表Ⅲ－1－2 市政への関心(区別)

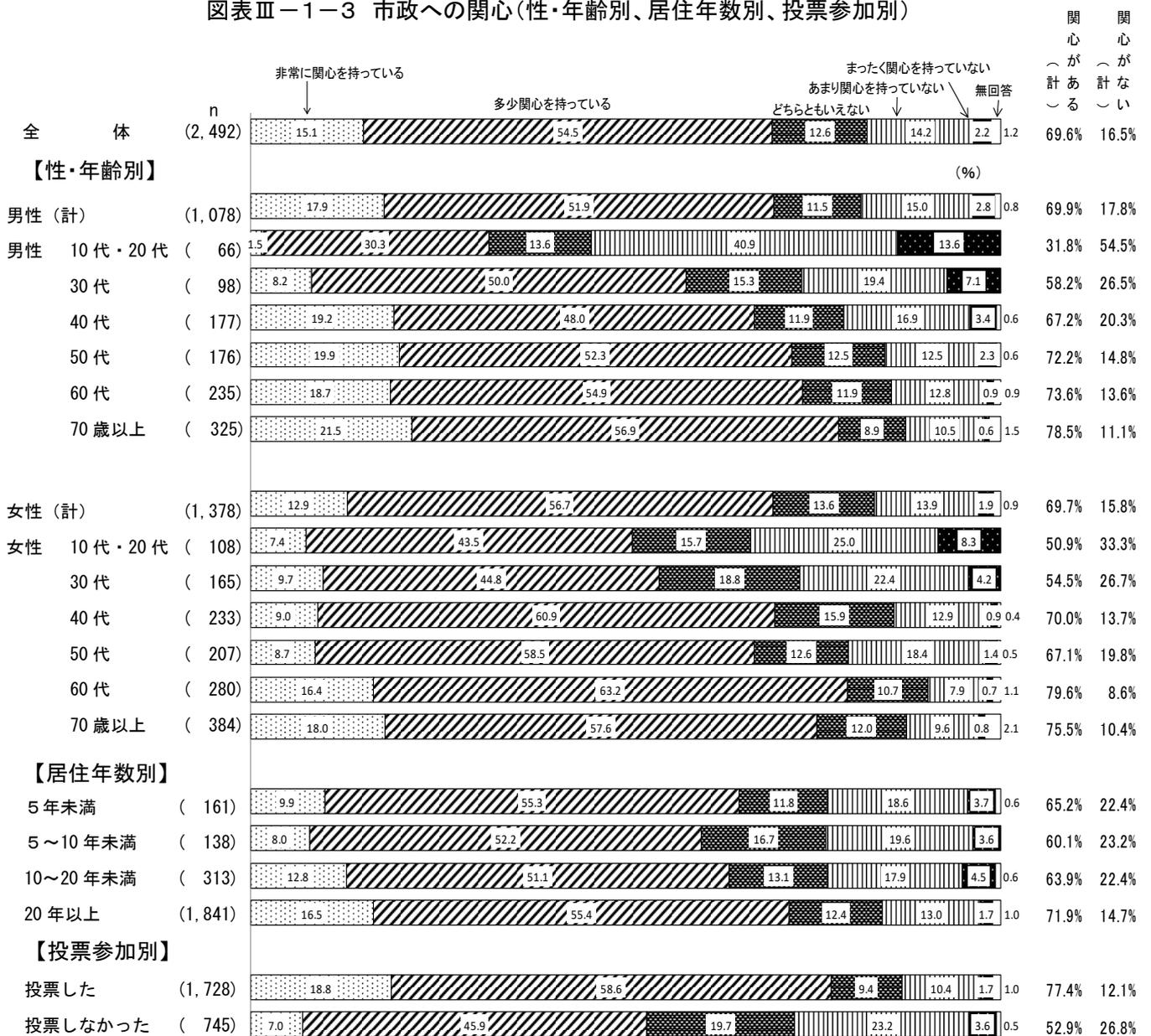


性・年齢別にみると、『関心がある（計）』は、男女ともおおむね高い年代ほど割合が高くなる傾向があり、男性では70歳代以上、女性では60代以上で7割5分を超えている。一方、『関心がない（計）』は、10代・20代で「男性」（54.5%）、「女性」（33.3%）と男女ともに多くなっている。（図表Ⅲ－1－3）

居住年数別にみると、『関心がある（計）』は、居住年数が「20年以上」が71.9%と割合が最も高くなっており、「5～10年未満」が60.1%と最も低くなっている。（図表Ⅲ－1－3）

投票参加別にみると、『関心がある（計）』は、「投票した人」（77.4%）の方が「投票しなかった人」（52.9%）より24.5ポイント高くなっている。（図表Ⅲ－1－3）

図表Ⅲ－1－3 市政への関心（性・年齢別、居住年数別、投票参加別）

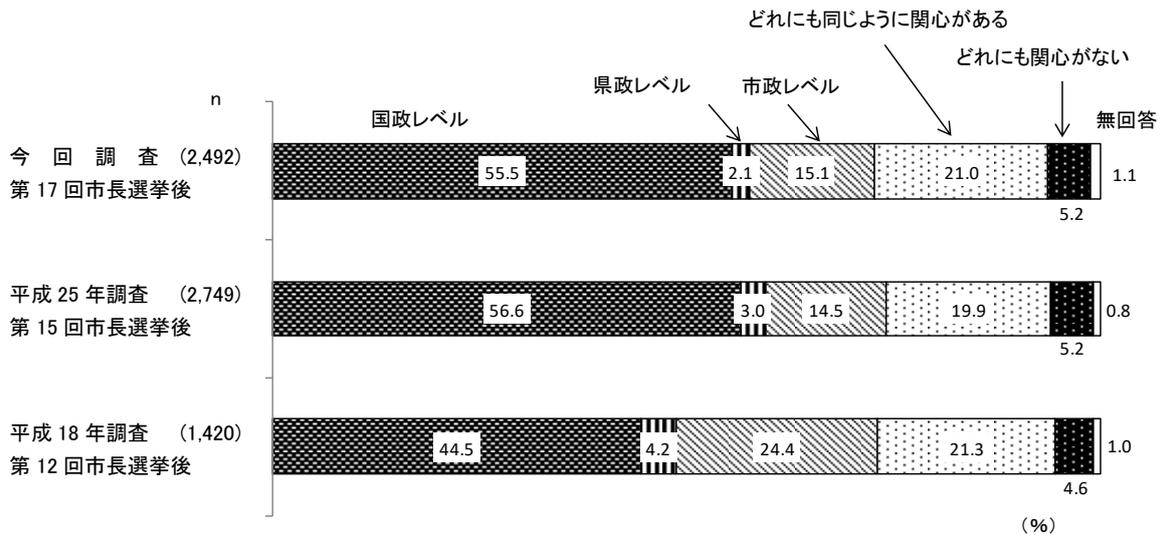


2 政治関心レベル

◇「国政レベル」への関心が55.5%

問5 あなたは、政治上の問題、できごと、行政の動きなどについて、「国政レベル」「県政レベル」「市政レベル」の三段階に分けた場合、もっとも関心を持っているものはどれですか。(〇は1つだけ)

図表Ⅲ-2-1

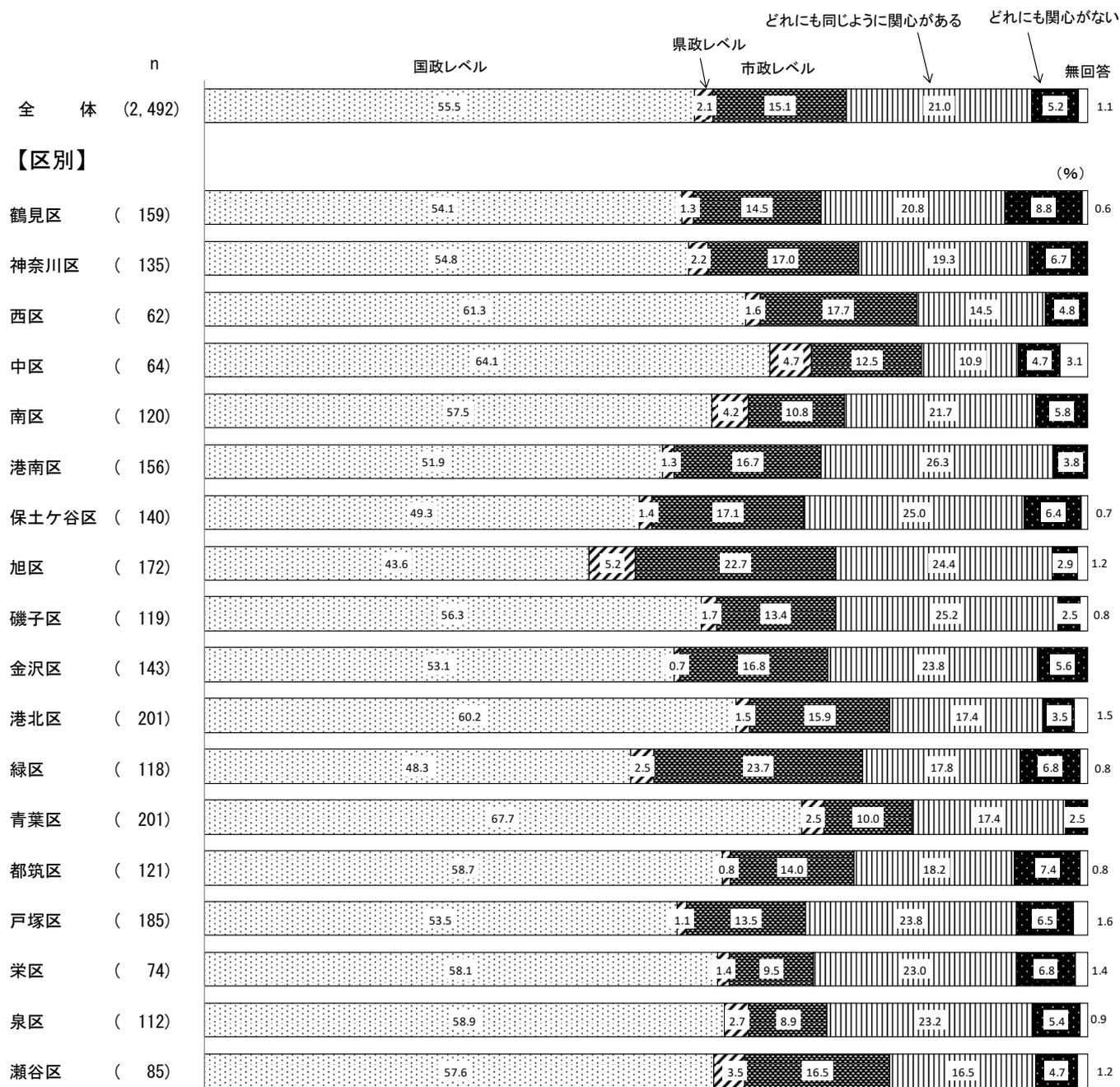


政治上の問題、できごと、行政の動きなど、どのレベルにもっとも関心を持っているかについて聞いたところ、「国政レベル」が55.5%で最も多く、次いで「市政レベル」(15.1%)、「県政レベル」(2.1%)の順となっている。また、「どれも同じように関心がある」が21.0%となっている。

平成18年調査(第12回市長選挙後)と比較すると、「国政レベル」では増加、「県政レベル」「市政レベル」では減少傾向が見られるが、平成25年調査(第15回市長選挙後)と比較すると、「国政レベル」「県政レベル」「市政レベル」ともにあまり差が見られず、ほぼ横ばい状態になっている。(図Ⅲ-2-1)

区別にみると、「国政レベル」は青葉区が67.7%と最も多く、中区(64.1%)、西区(61.3%)、港北区(60.2%)でも6割を超えている。「市政レベル」は緑区(23.7%)、旭区(22.7%)で2割を超えて多くなっている。「どれにも同じように関心がある」は港南区(26.3%)、磯子区(25.2%)、保土ヶ谷(25.0%)、で2割5分を超えて多くなっている。(図表Ⅲ-2-2)

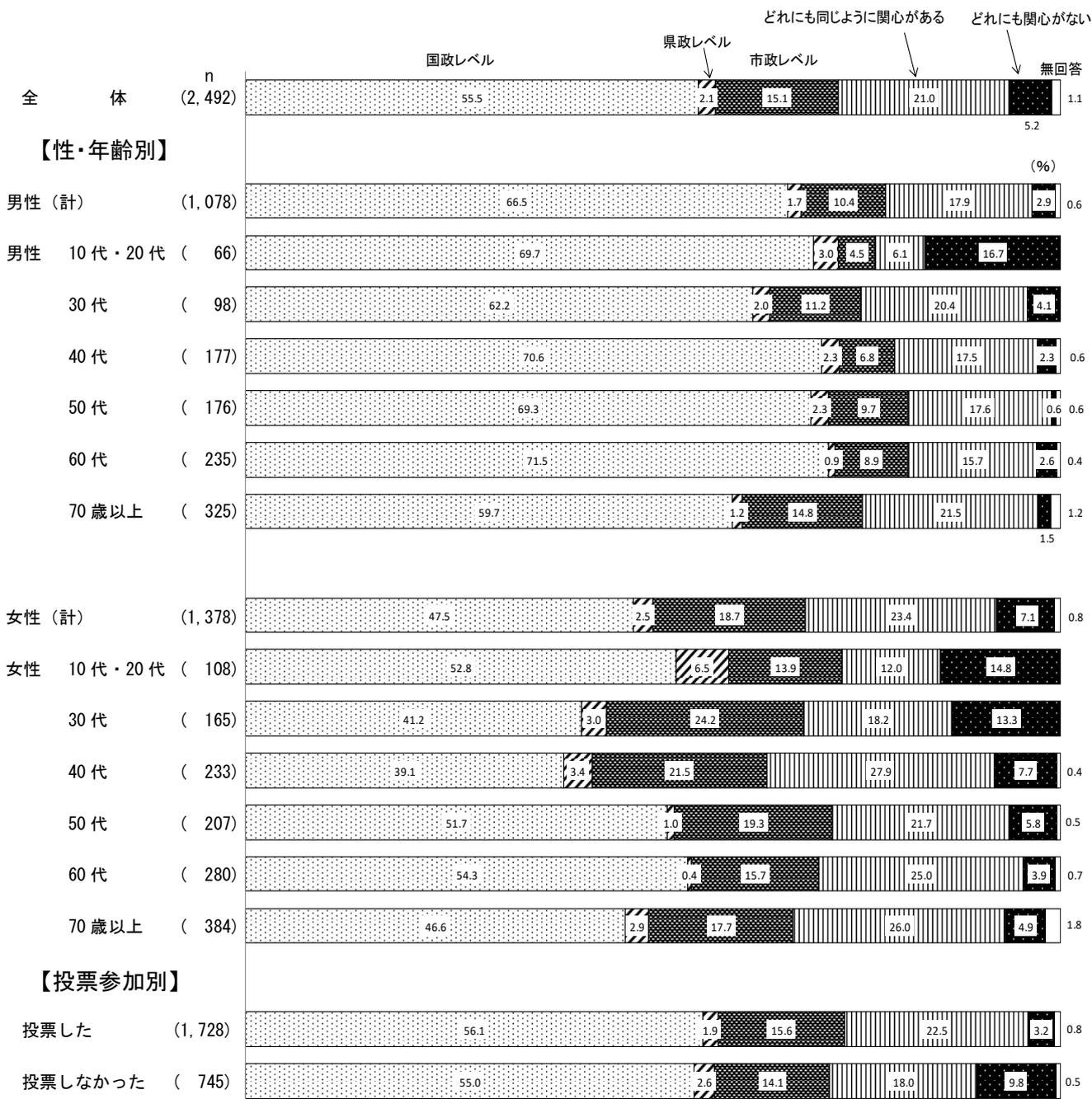
図表Ⅲ-2-2 政治関心レベル(区別)



性・年齢別にみると、「国政レベル」は男性（66.5%）の方が女性（47.5%）より19.0ポイント高く、特に男性の40代（70.6%）・60代（71.5%）で高くなっている。女性では60代が54.3%でもっとも高くなっている。（図Ⅲ-2-3）

投票参加別にみると、「どれにも関心がない」は投票しなかった人（9.8%）の方が投票した人（3.2%）より6.6ポイント高くなっている。（図表Ⅲ-2-3）

図表Ⅲ-2-3 政治関心レベル(性・年齢別・職業別、投票参加別)

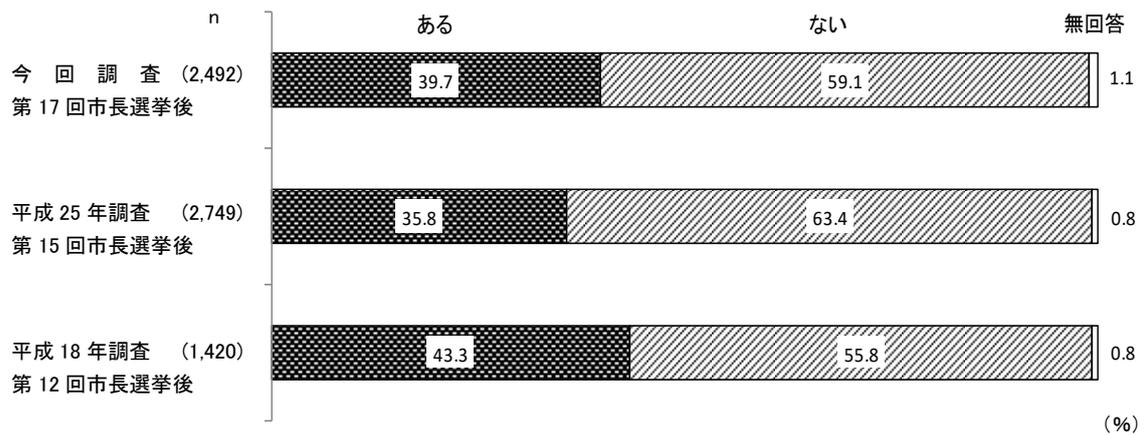


3 支持政党

◇ 支持政党が「ある」人は 39.7%

問6 あなたは、現在支持する政党がありますか。(○は1つだけ)

図表Ⅲ-3-1



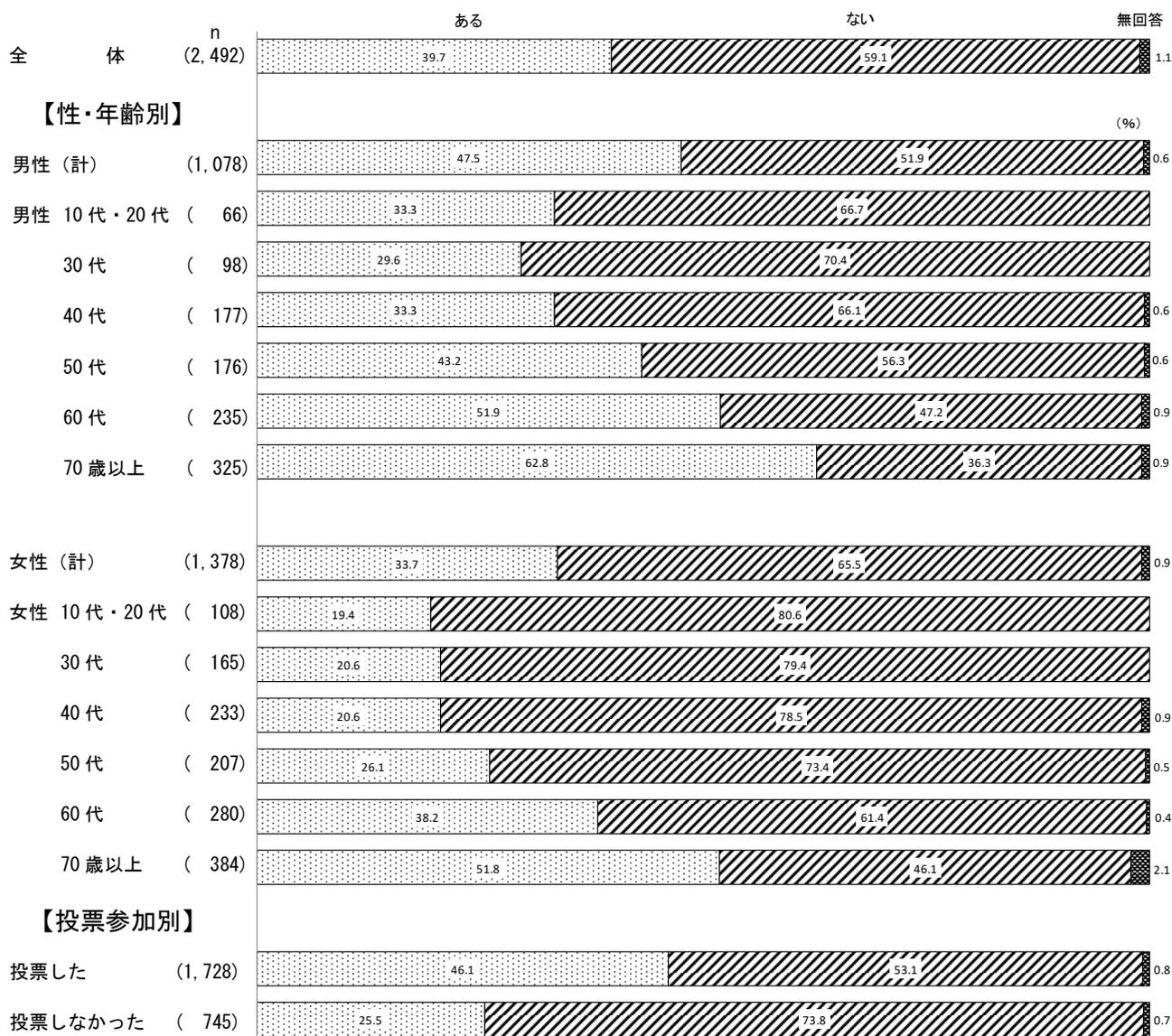
支持政党の有無を聞いたところ、「ある」が39.7%、「ない」が59.1%となっている。

平成25年調査（第15回 市長選挙後）と比較すると、「ある」（39.7%）は、前回（35.8%）より3.9ポイント増加している。（図Ⅲ-3-1）

性・年齢別にみると、「ある」は男性（計）（47.5%）の方が、女性（計）（33.7%）より13.8ポイント高く、また男女ともおおむね高い年代ほど割合が高くなる傾向にあり、男性60代（51.9%）、70歳以上（62.8%）、女性70歳以上（51.8%）で5割を超えている。（図表Ⅲ－3－2）

投票参加別にみると、「ある」は投票した人（46.1%）の方が、投票しなかった人（25.5%）より20.6ポイント高くなっている。（図表Ⅲ－3－2）

図表Ⅲ－3－2 支持政党の有無(性・年齢別、投票参加別)



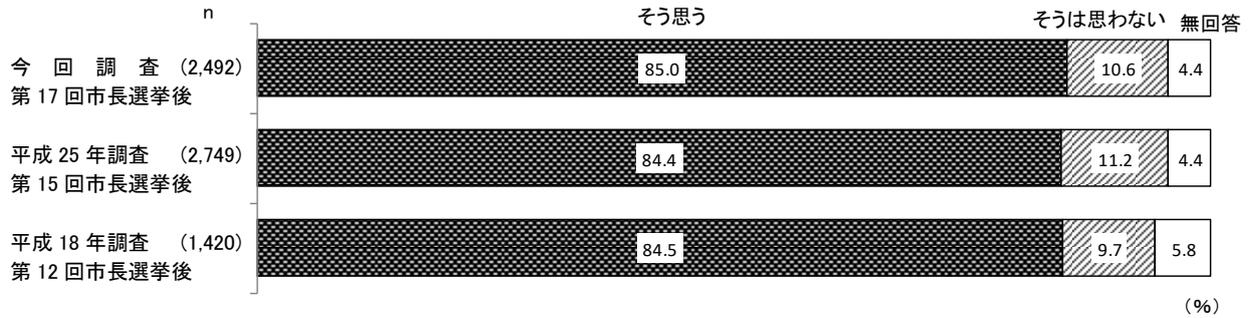
4 政治・選挙意識

◇「政治は、われわれの日常生活とは切り離せないものだ」の意見に対して 85.0%が同意

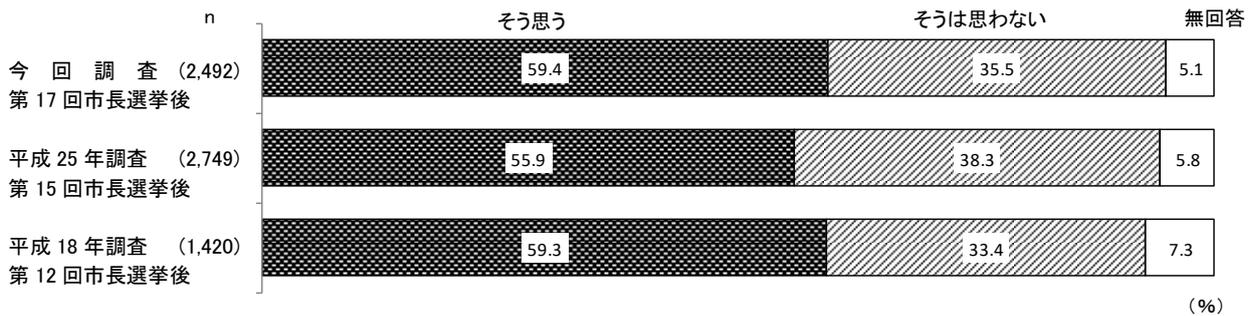
問7 政治や選挙について、次のような意見があります。(1)から(4)までのそれぞれについて、あなたの考えに近いものを1つずつ選んでください。

図表Ⅲ-4-1

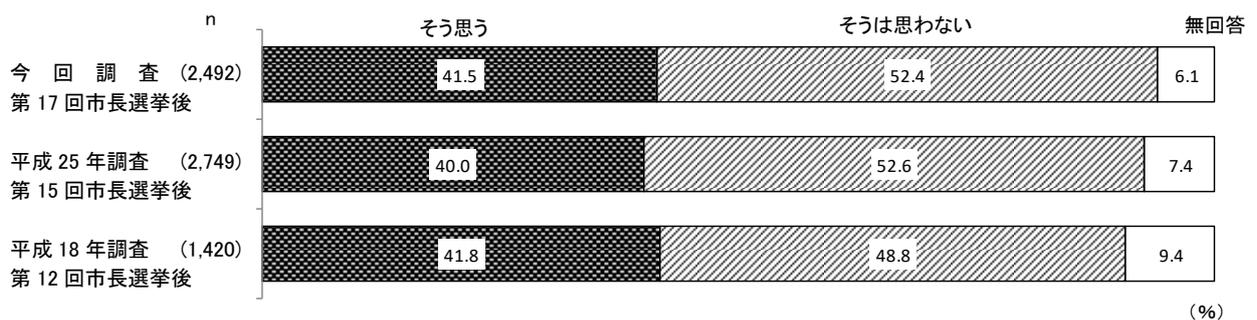
(1) 政治は、われわれの日常生活とは切り離せないものだ



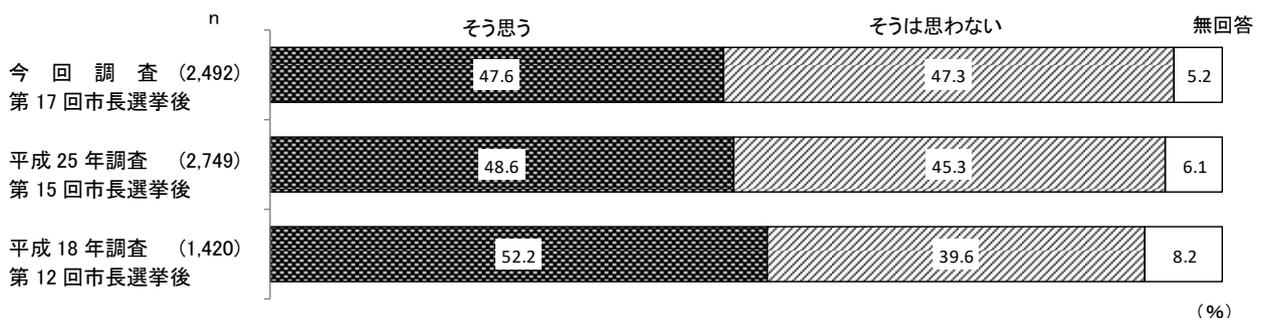
(2) 選挙があるからこそ、有権者の声が政治に反映するようになる



(3) 投票には行くが、それ以上は政治にかかわりたくない



(4) われわれが努力したところで、政治はよくなるものではない



政治・選挙に関する4つの意見について聞いた。

なお、平成18年調査（第12回 市長選挙後）ともに選択肢は、「非常にそう思う」、「まあそう思う」、「あまりそう思わない」、「全然そう思わない」の4肢であった。過去の調査の比較にあたっては、「非常にそう思う」と「まあそう思う」を合わせて「そう思う」とし、「非常にそう思う」と「全然そう思わない」を合わせて「そう思わない」とした。

(1) 政治は、われわれの日常生活とは切り離せないものだ

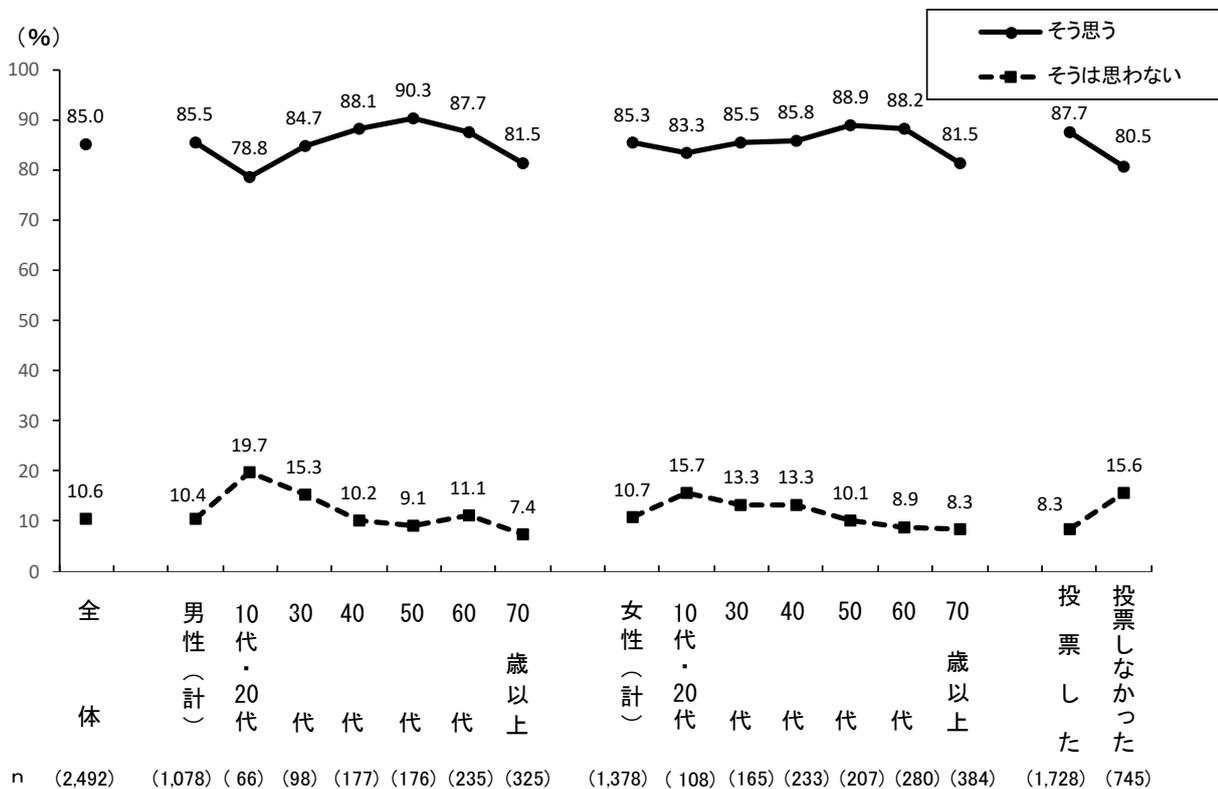
「そう思う」が85.0%、「そうは思わない」が10.6%になっている。

平成25年調査（第15回 市長選挙後）及び平成18年調査（第12回 市長選挙後）と比較すると、ほぼ同じ傾向になっている。（図表Ⅲ-4-1）

性・年齢別にみると、「そう思う」は、男性10代・20代が78.8%、女性70歳以上が81.5%と他と比べて低くなっており、不同意率「そうは思わない」は、10代・20代で男性（19.7%）、女性（15.7%）と男女ともに他と比べて高くなっており、年齢が上がるに従って低くなっていく。（図表Ⅲ-4-2）

投票参加別にみると、「そう思う」は、投票した人（87.7%）の方が投票しなかった人（80.5%）より、7.2ポイント高くなっている。（図表Ⅲ-4-2）

図表Ⅲ-4-2 「政治は、われわれの日常生活とは切り離せないものだ」
（性・年齢別、投票参加別）



(2) 選挙があるからこそ、有権者の声が政治に反映するようになる

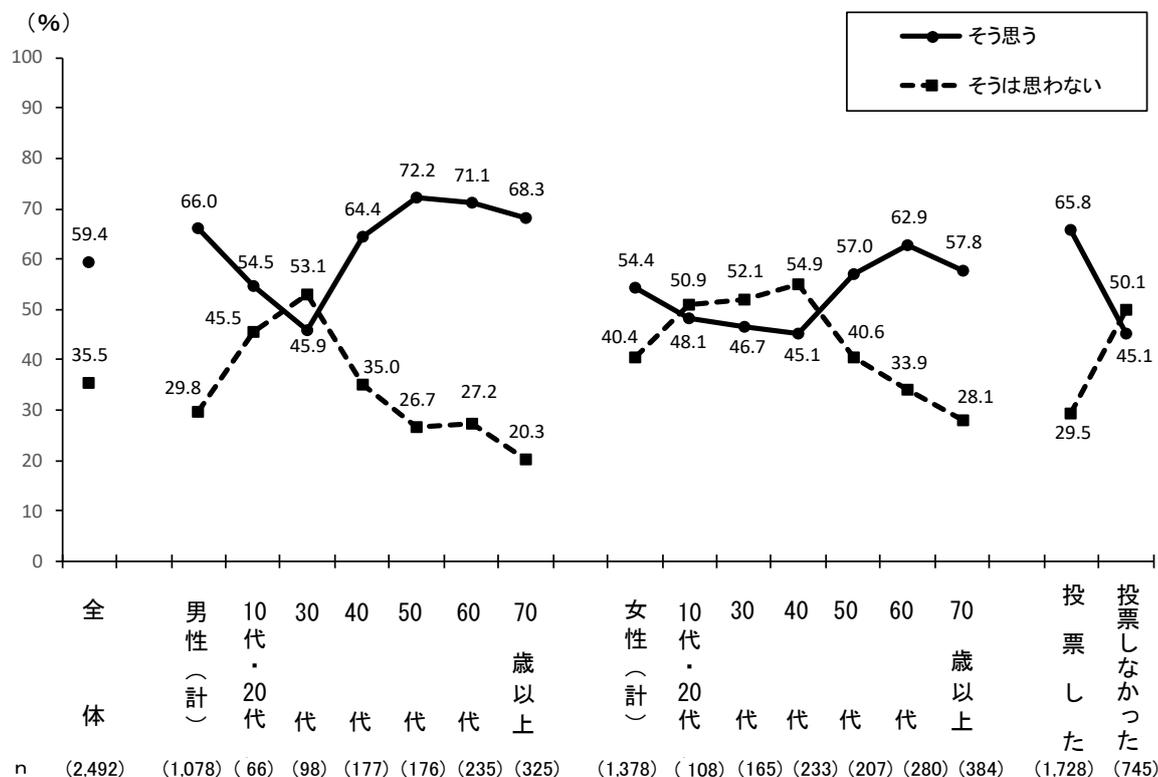
「そう思う」が59.4%、「そうは思わない」が35.5%になっている。

平成25年調査（第15回 市長選挙後）と比較すると、「そう思う」（59.4%）が前回（55.9%）より3.5ポイント増加している。（図表Ⅲ-4-1）

性・年齢別にみると、「そう思う」は、男性30代（45.9%）・女性40代（45.1%）で最も低くなっており、男性50代（72.2%）、女性60代（62.9%）で最も高くなっている。また、10代・20代の男性が54.5%、と男性30代45.9%より8.6ポイント高くなっている。不同意率「そうは思わない」は、男性30代（53.1%）、女性40代（54.9%）で最も高くなっている。（図表Ⅲ-4-3）

投票参加別にみると、「そう思う」は、投票した人（65.8%）の方が投票しなかった人（45.1%）より、20.7ポイント高くなっている。（図表Ⅲ-4-3）

図表Ⅲ-4-3 「選挙があるからこそ、有権者の声が政治に反映するようになる」
（性・年齢別、投票参加別）



(3) 投票には行くが、それ以上は政治にかかわりたくない

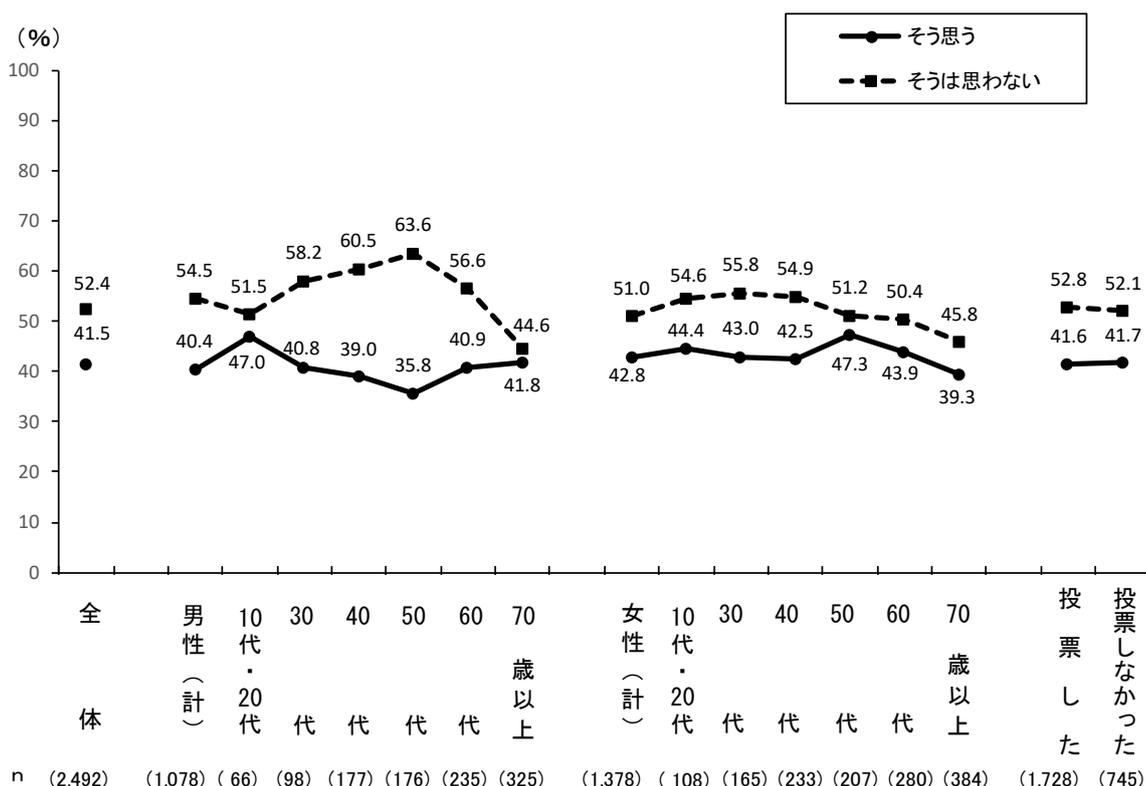
「そう思う」が41.5%、「そうは思わない」が52.4%になっている。

平成25年調査（第15回 市長選挙後）及び平成18年調査（第12回 市長選挙後）と比較すると、ほぼ同じ傾向になっている。（図表Ⅲ-4-1）（図表Ⅲ-4-1）

性・年齢別にみると、「そうは思わない」は、男性（54.5%）が女性（51.0%）よりも3.5ポイント高く、男性50代（63.6%）、女性30代（55.8%）が高くなっている。（図表Ⅲ-4-4）

投票参加別にみると、「そうは思わない」は、投票した人（52.8%）と投票しなかった人（52.1%）に差は見られない。（図表Ⅲ-4-4）

図表Ⅲ-4-4 「投票には行くが、それ以上は政治にかかわりたくない」
（性・年齢別、投票参加別）



(4) われわれが努力したところで、政治はよくなるものではない

「そう思う」が47.6%、「そうは思わない」が47.3%になっている。

平成25年調査（第15回 市長選挙後）及び平成18年調査（第12回 市長選挙後）と比較すると、「そう思う」は、減少傾向にある。（図表Ⅲ-4-1）

性・年齢別にみると、「そうは思わない」は、男性（56.0%）が女性（40.7%）よりも15.3ポイント高く、男性は10代・20代（33.3%）、女性は30代（24.2%）で最も低く、男性・女性ともに年齢が上がるにつれて高くなり60代で最も高くなる傾向にある。（図表Ⅲ-4-5）

投票参加別にみると、「そうは思わない」は、「投票した」（53.0%）が「投票しなかった」（34.9%）より18.1%高くなっている。（図表Ⅲ-4-5）

図表Ⅲ-4-5 「われわれが努力したところで、政治はよくなるものではない」
（性・年齢別、投票参加別）

